

東日本大震災による津波にともなう漂着瓦礫がもたらした海洋無脊椎動物の越境移動についての特別講演のお知らせ

2011年の3月11日に発生した東日本大震災による大津波により、東北太平洋沿岸では極めて多数の家屋、施設、船舶などが倒壊・漂流し、大量の瓦礫が生じることとなりました。これらは広く太平洋に流出し、一部は対岸の北アメリカ大陸沿岸にも漂着していることは既にご存じの通りです。これら瓦礫を付着基質として我が国沿岸の付着生物や無脊椎動物も太平洋を横断し、北米太平洋沿岸諸国の生物相にも影響が及んでいることが懸念されていますが、いまだその詳細については我が国では明らかになってはおりません。この漂着瓦礫の影響については、PICES（北太平洋海洋科学機構）のプロジェクトとして、日本（九州大、神戸大、気象研、国総研、JAMSTEC、日本エヌ・ユー・エスなど）、アメリカ（NOAA, Oregon State University, William College, Smithsonian Environmental Research Center, Moss Landing Marine Laboratory など）、カナダ（Department of Fisheries and Oceans）の関係機関が協力して、環境省の拠出金により2014年4月～2017年3月までの3年間にわたり調査、研究が進められています（<http://www.pices.int/projects/ADRIFT/main.aspx>）。

この度、このプロジェクトの関係者の一人で、外来種問題の第一人者である米国 William College の名誉教授である James T. Carlton 博士の来日にともない、以下の特別講演会を北太平洋海洋科学機構（PICES）と日本付着生物学会（SOSJ）の共催で企画いたしました。

漂着瓦礫の太平洋横断は、生物多様性の攪乱、地理的分布の変化、外来種の侵入などさまざまな問題を含んでいることから、こうした問題に関心のある方々の参加を広く仰ぎ、未曾有の大震災がもたらした世界的影響について考えるひとつの機会にしたいと考えます。

つきましては、会場確保の関係から参加者を事前登録制で募集することにいたしました。参加ご希望の方は **2015年12月15日（火）までに**「参加申込書」に必要事項を記入し、電子メールの添付書類として下記「**日本付着生物学会事務局**」宛にお送り下さい（宛先：sosj-post@bunken.co.jp）。「参加申込書」は日本付着生物学会のホームページ（<http://www.sosj.jp/>）からもダウンロードできます。申込期間が短いですが、多数のご参加をお願いいたします。

日時：2016年2月24日（水）、17:30～18:30

場所：東京・銀座～新橋界隈の会議室（予定）

（参加人数が決定次第、会場を決め、後日参加者にお知らせいたします）

発表演題：“Transoceanic Rafting Communities of Sessile Invertebrates on Tsunami Debris.”

招待講演者：Dr. James T. Carlton（米国 William College 名誉教授）

参加費：無料

主催：北太平洋海洋科学機構（PICES）、日本付着生物学会（SOSJ）

参加申込書の送付および問い合わせ先

日本付着生物学会事務局

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1 北里大学海洋生命科学部内

事務局長 難波 信由

E-mail：ses.org@kitasato-u.ac.jp

東日本大震災による津波にともなう漂着瓦礫がもたらした海洋無脊椎動物の越境移動についての特別講演（James T. Carlton 博士特別講演）

“Transoceanic Rafting Communities of Sessile Invertebrates on Tsunami Debris”

（2016年2月24日（水）開催）

参加申込書

（申込締切：2015年12月15日（火））

氏名： _____

所属機関名： _____

役職（学年）： _____

TEL : _____

FAX : _____

E-mail : _____

*** 参加者一名につき一枚を下記宛にお送り下さい。**

日本付着生物学会事務局

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1 北里大学海洋生命科学部内
事務局長 難波 信由

E-mail : ses.org@kitasato-u.ac.jp